

授業科目 臨床実習 II

【担当教員名】 言語聴覚学科教員全員 他		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 これまでに履修した専門基礎科目の知識を用いて、各種の言語障害の診断、治療指導計画の立案と実施について、実際の症例との関わりを通して学ぶことを目的とする。さらに、言語聴覚士と他部門との連携についても学習する。 また、学内セミナーでは、症例の評価報告に必要な基礎知識についての演習を行い、学外実習後には症例報告を行う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 言語聴覚士と対象者および家族との関わりについて見学し、考察を深める。 2. 言語聴覚障害の評価・診断を行い、結果を報告できるようにする。 3. 診断に基づいた、治療・指導計画の立案について学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	オリエンテーション 事前学習・演習	実習性としての心得・基礎知識 評価・診断・訓練計画作成と報告の仕方		1 2	学内セミナー 演習
	病院および施設での学外実習			2,3	学外配属実習
	病院や施設の特徴および症例についてのまとめ			2,3	演習
	症例報告			2,3	学内セミナーでの発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 1. 出席状況、実習指導者からの評価 2. 症例報告書と発表内容に対する学内教員による評価 以上を総合して評価する。			【履修上の留意点】 ・3年前期までの単位取得状況によっては履修登録を受け付けない ・実習日程、配属施設等は実習先と相談の上、後日決定する。		